

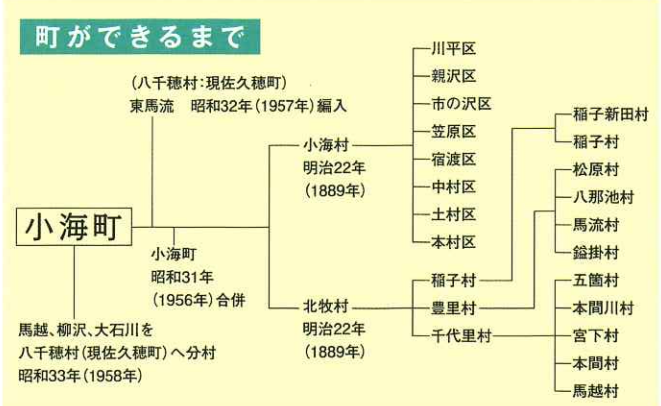
小海町郷土資料館

—私たちの小海町—

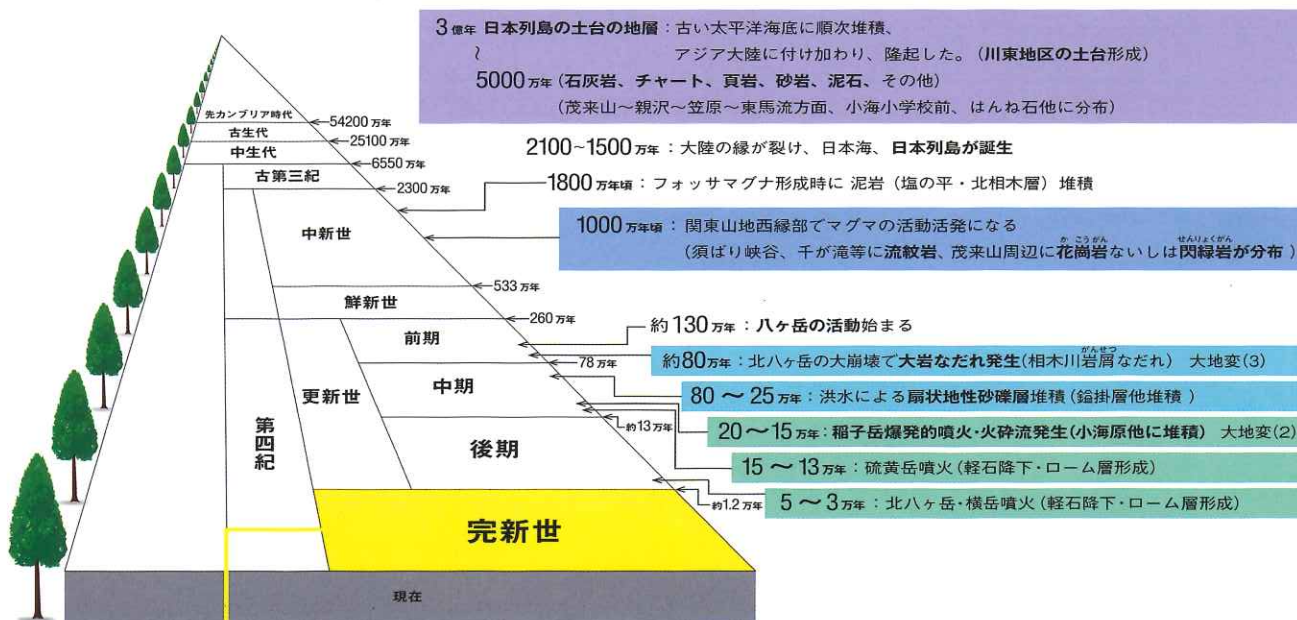
小海町は昭和31年(1956)9月に北牧村と小海村が合併し、昭和32年(1957)4月には現在の佐久穂町の一部(東馬流)が編入されて現在の小海町が誕生しました。

長野県東部に位置し、南佐久郡のほぼ中央に位置する小海町は、東西に細長い形をした町の真ん中を千曲川が流れ、川に沿って帯状の平坦地が広がっています。ここを国道141号線やJR小海線が走っており、主要な交通路となっています。

町の東に秩父山塊および茂来山の裾野が広がり、西は八ヶ岳の広大な裾野が広がって高原をなし、高原野菜の産地になっています。また、冬はスケートやスキーといったウインタースポーツ、松原湖のワカサギ釣りなど、自然豊かな四季を楽しめる高原の町です。



1 地質時代の自然史 (年代は現在を基準にして何年前かで表示)



2 完新世の自然史 (年代は西暦で表示)

